

dsgwd_pi のインストール手順

V00.07 2014.03.03

安田 聖

1. Raspbian をインストール

1. 1 SD カードのフォーマット

4 GB 以上の SD カードを使用すること。

1. 2 Raspbian のダウンロード

<http://www.raspberrypi.org/> の Downloads ページから最新の raspbian のイメージファイルをダウンロードする。(http://downloads.raspberrypi.org/raspbian_latest)

1. 3 1. 2 でダウンロードした 2014-01-07-wheezy-raspbian.zip を解凍する。

1. 4 win32diskimager のダウンロード

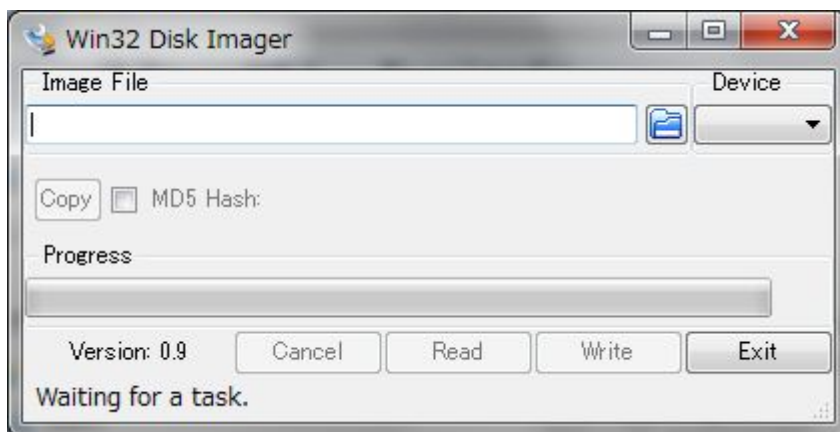
<http://sourceforge.net/projects/win32diskimager/>




1. 5 ダウンロードした win32diskimager を展開する。

1. 6 SD カードへ 1. 3 で解凍したファイルを 1. 5 を使用して書き込む。

1. 5 で解凍したファイルの中の win32diskimager をクリックすると下記のように表示さ



れるので、をクリックして1. 3で解凍したファイルを指定する。その後、write ボタンを押してSDカードの書き込みを行う。

1. 7 書き込みを行ったSDカードをRaspberryPIに差し込み、Raspbianを実行する。
1. 8 raspi-configを使用して、ファイルエリアの拡張、タイムゾーンの設定、仕様言を設定する。
1. 9 apt-get upgrade、apt-get updateそしてrpi-updateを実行して最新のバージョンに更新する。

2. libusbのインストール

```
apt-get install libusb
```

3. Sourceforge.jpよりdsgwd_pi.xx.xx.tar.gz(xx.xxは、バージョン番号)を得る。
dsgwd_piのダウンロード
<https://sourceforge.jp/projects/authent/releases/>のdsgwd_piをダウンロードする。

4. dsgwd_piの作成

4. 1 4でダウンロードしたファイルを適当なディレクトリーに移し、展開する。

```
tar zxvf dsgwd_pi.00.18.tar.gz
```
4. 2 make コマンドを使用して、dsgwd_piを作成する。

5. /etc/dsgwd_pi.confの設定

同梱されているdsgwd_pi.confを/etc/にコピーする。ファイルの内容は、下記の通りです。この中で、赤字で示されている部分を各自の設定に合わせて変更する。

```
#  
# file name is /etc/dsgwd_pi.con  
#
```

```
TRUST_DOMAIN_NAME=auth.d-star.info
TRUST_DB_DOMAIN_NAME=auth.d-star.info
#
REPEATER_CALL=JK1ZRW A
TRUST_PORT=29000
#
PASSWORD=satoshi
#
PORT=29110
TRUST_DB_PORT=29002
#
# 0: stdin
# 1: FIFO file name /tmp/dsgwd_pi-cmdin
# note: mkfifo -m 0666 /tmp/dsgwd_pi-cmdin
#
CMD_MODE=1
#
REPEATER_MODE=NO
#
# 0x04d8 = 1240
NODE_ADAPTER_VERDER_ID=1240
# 0x0300 = 768
NODE_ADAPTER_PRODUCT_ID=768
#
# Call sign check
# 0 No check
# 1 Check with /etc/dsgwd_pi/callcheck.acl
#
CALL_CHECK=1
#
#
# DPRS_MODE 0 No Effect
# 1 DPRS Mode On
#
DPRS_MODE=0
#
```

```
# Strip dprs message from slow data
# 0 No Effect
# 1 Strip from slow data
#
DPRS_STRIP=0
#
DPRS_SERVER_DOMAIN_NAME=yasuda.jmsi.co.jp
#
DPRS_SERVER_PORT=14579
#
DPRS_STATION_CALLSIGN=JK1ZRW I
#
DPRS_STATION_VALIDATION_CODE=23204
#
DPRS_STATION_BEACON_INTERVAL=60
#
DPRS_STATION_COMMENT=DPRS <=> APRS
#
DPRS_STATION_LATITUDE=35.8930
#
DPRS_STATION_LONGITUDE=139.4158
#
# Beacon ON
# OFF
DPRS_STATION_BEACON_SEND=ON
#
```

6. fifo のパイプファイルを作成

```
mkfifo -m 0666 /tmp/dsgwd_pi-cmdin
```

7. logrotate の設定

dsgwd_pi のログのローテーションを行うため、同梱されている dsgwd_pi_log を /etc/logrotate.d/ にコピーする。保存する履歴の数等を変更する場合は、下記の赤字の部分を変更する。

```
#
```

```

# /etc/logrotate.d/dsgwd_pi
#
/var/log/dsgwd_pi.log {
    rotate 52          <=保存する履歴の数
    weekly            <=週単位での履歴
    compress
    missingok
    notifempty
}

```

8. callcheck.acl

```

#
#      /etc/dsgwd_pi/callcheck.acl
#
#      ACL      ファイルで受け付けるコールサインを定義
#      1-8 コールサイン
#      9      A 受け付ける
#            D 受け付けない
#
#      フィールド定義
#            英数字
#      $      数字のみ
#      *      英字のみ
#      &      英数字
#      %      英字と空白
#
8J$*   %A
8J$&* %A
8J$&&* %A
8J$&&&*%A
8J$&&&&*A
8K$*   %A
8K$&* %A
8K$&&* %A
8K$&&&*%A
8K$&&&&*A

```

8L\$* %A
8L\$&* %A
8L\$&&* %A
8L\$&&&*%A
8L\$&&&&*A
8M\$* %A
8M\$&* %A
8M\$&&* %A
8M\$&&&*%A
8M\$&&&&*A
8N\$* %A
8N\$&* %A
8N\$&&* %A
8N\$&&&*%A
8N\$&&&&*A
7J\$*** %A
7K1*** %A
7K2*** %A
7K3*** %A
7K4*** %A
7L1*** %A
7L2*** %A
7L3*** %A
7L4*** %A
7M1*** %A
7M2*** %A
7M3*** %A
7M4*** %A
7N1*** %A
7N2*** %A
7N3*** %A
7N4*** %A
JA\$*** %A
JA\$** %A
JD1*** %A
JE\$*** %A

JF\$*** %A
JG\$*** %A
JH\$*** %A
JI\$*** %A
JJ\$*** %A
JK\$*** %A
JL\$*** %A
JM\$*** %A
JN\$*** %A
JO\$*** %A
JP\$*** %A
JQ\$*** %A
JR\$*** %A
JS\$*** %A
JR\$** %A

9. 認証サーバーへの登録

<http://auth.d-star.info> から、認証サーバー用のコールサインとパスワードの登録します。コールサインは、5の/etc/ddsgwd_pi.fon の REPEATER_CALL で指定したコールサインの機器名（8文字目）を除いた部分を指定します。

10. 利用者のコールサインの登録

<http://auth.d-star.info> から利用者コールサイン(機器名を含む8文字)を登録します。現在自動登録システムが稼働していますので、機器名だけが異なるコールサインは、自動登録されます。

11. 稼働レピータ／ノードの表示

<http://auth.d-star.info> から「稼働レピータ／ノードの表示」を選択して下さい。

12. 利用者の表示

<http://auth.d-star.info> から「利用者の表示」を選択して下さい。